



市民体育祭(花園中学校・花見川区)

第3回 定例会のあらまし

平成12年第3回定例会が、9月7日から9月29日までの23日間の日程で開かれました。
この定例会では、補正予算、条例の一部改正および平成11年度決算など32件の市長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意・認定しました。
さらに、意見書15件、請願1件を審議したほか、各会派の代表質問が7名の議員により行われました。
なお、平成11年度決算議案については、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

可決した主な議案

平成11年度各会計歳入歳出 決算を認定

《予算》

*一般会計補正予算

国庫補助金の決定に伴い、小中学校校舎等買収費、土地区画整理事業費および公園整備費などを追加するとともに、国の公共事業等予備費の使用決定に伴う廃棄物処理施設整備費を追加するなど、合わせて四十六億六千万円を追加します。この財源は、市債二十四億三千八百万円、繰越金十一億七千三百万円、国庫支出金九億五千二百万円などとなっております。これにより一般会計の予算総額は、三千三百八十八億四千万円になります。

*特別会計補正予算(企業会計を含む)

千葉市都市計画土地区画整理事業特別会計および下水道事業会計に、合わせて六億一千七百万円を追加します。これにより企業会計を含む特別会計の予算総額は、二千九百四十四億九千七百万円になります。

《条例》

*千葉市社会福祉法人助成条例等の一部改正
社会福祉事業法などの一部改正に伴い、規定の整備を図るため、条例の一部を改正します。

《町の区域及び名称の変更》

*千葉寺土地区画整理事業の換地処分に伴い、中央区青葉町、千葉寺町および葛城3丁目の各一部の区域について、町の区域および名称を変更します。

*浜野駅東口土地区画整理事業の換地処分に伴い、中央区村田町および浜野町の各一部の区域について、町の区域および名称を変更します。

《工事請負契約》

*市営住宅天台団地建替事業建築主体工事を四億四千万円で行います。

*蘇我小学校屋内運動場改築工事を三億五千六百万円で行います。

《決算》

平成11年度一般会計の決算額は、歳入三千六百二十一億八百万円、歳出三千五百四十五億七千三百万円となり、特別会計および企業会計を合わせた全会計の決算額は、歳入六千四百七十九億八千三百万円、歳出六千四百四十九億八千七百万円となりました。

市民自由クラブ

平成13年度予算編成について

平成13年度予算編成に当たっての基本的な考え方は、13年度における財源確保の見直しについて、平成13年度予算編成に当たっては、21世紀を展望した社会経済情勢の変化や多様化する市民ニーズを的確に把握するとともに、「ちばビジョン21」に基づき、5か年計画の初年度として、将来像の実現に向けて各種施策をバランスよく着実に展開するほか、少子高齢化や環境対策、地域経済対策などの当面する重要課題に十分意を用いる必要がある。国の予算編成や地方財政対策の動向などを見極めながら今後の予算編成に臨みたい。

また、財源確保の見直しであるが、自主財源、依存財源とも引き続き厳しい状況が見込まれる。このため、行政改革



市立千葉高等学校 (稲毛区小仲台)

市立千葉高等学校の改築について

市立千葉高等学校改築の基本構想案に際し、会派として、新たな学科の新設や移転改築の要望書を提出したところだが、基本構想の進捗状況と今後の計画について伺う。

平成14年度から実施される高等学校学習指導要領の改訂や高度情報化および国際化の進展状況などを踏まえ、現在教育委員会内部において、生徒一人ひとりの多様な学習希望や進路希望に對して、柔軟で弾力的な対応ができ、個性を伸ばす高等学校のあり方を検討している。また、全面改築や新学科の設置などを行った先達事例の実態調査を実施しており、これらの検討結果を踏まえながら、学科やコースの新設および改築場所を含め、基本構想案の取りまとめを行っている。今後、全庁的合意を得て、基本構想を策定し、これを基に新5か年計画の中で、具体的に位置付けていきたい。

千葉市議会 公明党

政策評価制度の導入について

国は、来年1月に、中央省庁がそれぞれ行政評価を行う政策評価制度を導入する。この導入の動きについて、本市はどのように受け止めているのか。また、本市としても積極的に政策評価制度を取り入れる考えはないか伺う。

政府は、来年1月の中央省庁等改革に伴い導入する政策評価制度の標準的な指針案を取りまとめ、去る7月31日に公表した。この制度は、「行政説明責任の徹底」「国民本位の効率的で質の高い行政の実現」および「国民的視点に立った成果重視の行政への転換」を目的に、行政が自ら政策の効果を評価して公表するとともに、その結果を政策の企画立案に反映する仕組みであるが、透明で効果的・効率的な行政を実現する

上で有効な手法となることを期待している。

また、本市においては、個々の事業について、その選別、優先化、重点化を行うとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的として、平成13年度に事業評価システムを導入することとしており、現在、国の制度も踏まえ、調査・検討を進めている。また、調査・検討を進めている。

芸術文化奨励制度の創設について

歴史的な特徴に乏しい本市において、文化性を内外に特徴付け、またアピールするとともに、芸術文化を志す市民の将来の活躍のために、特色のある芸術文化奨励制度の創設を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

本市では芸術文化の振興を担う多彩な人材が活躍されているが、こうした方々を中心に、広く市民に文化活動への参加を求めるとともに、その自主的な活動を支援することは、新しい千葉文化を創造し育成するために大切なことと考えている。こうした観点から、優れた人材の育成や自主的な文化活動を奨励・支援する芸術文化奨励制度の創設については、平成11年に策定した、文化振興マスタープランの趣旨を踏まえ、文化振興懇話会の設置について検討しており、その中で制度の創設について対応していきたい。



ロックバンドの練習風景(千葉市文化センター・中央区)

日本共産党 千葉市議会議員団

公共事業に対する事業評価制度の創設と大型プロジェクトの見直しについて

公共事業のあり方として、市民参加の「事業評価制度」を設け、大型プロジェクトを全面的に見直し、ムダと浪費をなくすよう求めるが、どうか。

本市では、平成10年度下水道局所管の公共事業について、一定の要件に該当する事業を対象に、第三者機関である「千葉市公共事業再評価監視委員会」に諮り、評価を実施している。今後、国の動向などを的確に見極め、より実効性のある公共事業評価システムの構築に向け、幅広い視点から検討していきたい。

また、大型プロジェクトの見直しについては、市勢の均衡ある発展と市民福祉のさらなる向上を図るためには、効果的、効率的なバランスの取れた施策の推進が重要であり、今後とも必要な事業は計画的に取り組んでいきたい。

教科書問題について

新しい歴史教科書が「くまの宮」の委員が書いた書籍が、市の教育委員会や教育関係者に送られていないか伺う。送られているとすれば、教科書採択している。



ポートタワーから見た市街地(中央区)

代表質問が



9月14日(市民自由クラブ) 千葉市議会公明党、18日(日本共産党千葉市議会議員団) 市民ネットワーク・市政会、19日(民主新政クラブ・五月会)の3日間にわたり、7会派の代表により市政運営などについて質問が行われました。

市政会

都市計画道路の整備について

都市計画道路の完成により、環境がどのように改善されたか、調査した結果を伺う。また、都市計画道路区域内のため不利益を被る住民もいるので、その整備目標と優先順位を伺う。

調査結果は、その一例として、平成11年3月の矢作トンネル開通により全線供用開始した西千葉駅南町線の場合では、奥付前通りの交通量が10・2％減少した。この整備の結果は都心部への通過交通の減少および渋滞の緩和に結び付き、環境改善に良い影響を与えたと理解している。

また、未整備計画道路の整備目標および優先順位は、市内の各地点を一般道で概ね30分以内で連絡する道路網を整備すること。「県都一時間圏整備」を支える道路網を整備すること」を基本方針として積極的に取り組んでおり、この目標達成のために、環状道路4路線と放射線8路線の整備を推進する。



西千葉駅南町線(矢作トンネル付近・中央区)

生活道路の整備について

第6次から年計画において、災害に強いまちづくりが掲げられているが、市

内には消防活動がままならない地域がある。そこで、生活道路の整備状況について、また、地方分権により、赤道・青道財源は国に譲渡が申請すると市に委譲されるが、今後そのような赤道をどのように認定し、管理するのか。また、市道認定要綱の幅員4mなどの要件を全て満たす道路のみを受け取るのか伺う。

第6次から年計画における整備状況については、平成12年度末までに、約7・4kmの整備を予定している。

また、委譲される道路の認定・管理については、法定外公共物の赤道は、公園や現況平面図のみならず、現地を十分調査した上で譲り受けられた認定外道路として管理する。なお、市道認定要綱の適用については、この要綱に関わらず、市民生活に必要であると思われるものは、譲り申請を

市民ネットワーク

仮称ちば男女共同参画計画(ハーモニープラン21)について

今後、計画を策定するまでのスケジュールを伺う。また、中間報告会を開催し、市民参加の機会を設けるべきと考えるがどうか。

男女平等社会の実現のためには、市民、行政、企業の連携が必要といわれているが、今の骨子づくりにどのように生かされ、今後どのように取り入れていくのか伺う。

計画策定の参考資料とすため、中間報告会をかね、「骨子案」についての意見を聴く会を実施することとした。今後のスケジュールについては、男女共同参画懇話会において、市民意識調査や骨子案公表に伴う市民意見の聴取結果を踏まえた内容を議論していただき、その提言を受けて、庁内で組織する男女共同参画推進協議会で12月

未までに検討を終了し、今年度中に策定する予定である。また、施策体系の策定に当たっては、市民、NGO、企業などのパートナーシップの推進の視点を盛り込み、家庭や学校、職場、地域社会をあらゆる領域での男女共同参画を実現していくことを重要な柱としていくので、全ての施策に反映していく。

生ごみの堆肥化を行う意義について、どのように考えるのか伺う。

現在、本市では家庭向け生ごみの減量処理機や肥料化容器に補助制度を設けているが、補助の対象を家庭単位だけでなく、自治会など地域の団体に広げる考えはないのか伺う。

生ごみの堆肥化については、排出源でのごみの減量・再資源化を推進する上から、重要なことと考えて



幸町第三小学校の生ごみ処理機(美浜区)

民主新政クラブ

市内雇用情勢について

市内の雇用情勢について、有効求人倍率など労働力指標はどのようになっているのか。

また、本市として労働相談・職業紹介事業への取組はどのようになっているのか伺う。

労働力指標については、千葉公共職業安定所管内の有効求人倍率であるが、今年4月の0・38倍に対し、7月は0・46倍であり、やや改善の動きがみられる。新規求人数についても、4月の3602人に対し、7月が3906人と増加傾向である。このことから、経済指標と同様、雇用情勢についても多少の明るさが見えてきていると考える。

労働相談については、蘇我勤労市民プラザおよび千葉労働者総合福祉センターで実施しており、主に賃金・勤務時

間などの労働条件や求職・再就職に関する相談が多い。また、職業紹介事業については、千葉公共職業安定所など連携し、ポートサイドタワー16階にあるパトの職業相談施設「千葉両立支援ハローワーク」や中央「高齢者職業相談」で実施している。

また、独居老人、障害者などへの救急出動時に、要請場所が高層住宅などで要綱が施錠されている場合、万が一入らない場合は、直ちに消防隊や救助隊を応援出動させている。また、119番入電時、このような状況がわかったときは、同時に消防隊を出動させ、救急活動が迅速に行えるように努めている。



千葉両立支援ハローワーク(ポートサイドタワー・中央区)

消防防災対策について

本市の台風災害に対する備えについて伺う。

また、施錠されている入室不能な場合の救助隊の対応は、隣室からベランダつたいに入るなどしているが、万一入らない場合は、直ちに消防隊や救助隊を応援出動させている。また、119番入電時、このような状況がわかったときは、同時に消防隊を出動させ、救急活動が迅速に行えるように努めている。

可決した意見書(要旨)

議員提出議案として15件の意見書を審議し、次の4件を可決しました。可決した意見書は、国会および関係行政機関に提出しました。

- 三宅島等伊豆諸島の災害対策に関する意見書

国に対し、三宅島など伊豆諸島の災害に対し、万全の対策を講ずよう求める。
- 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の拡充と保育施策の充実を求める意見書

国に対し、育児・介護休業制度および保育施策充実について、2001年通常国会において法整備をはじめ社会環境整備の一層の取り組みを強く要請する。
- 「自然エネルギー発電促進法」の早期制定を求める意見書

国に対し、地球温暖化防止の趣旨を踏まえ、地域活性化にも貢献する「自然エネルギー発電促進法」の制定に取り組むよう強く要望する。
- 道路特定財源の堅持に関する意見書

国に対し、道路整備の重要性を深く認識し、道路整備の財源を充実・強化するため、道路特定財源を一般財源化することなく、堅持されることを強く要望する。

五月会

蘇我駅周辺の浸水対策について

蘇我駅周辺では、たびたび浸水被害が発生しているが、その原因はどこにあるかと考えているのか。また、今までのこの地区の浸水対策としてどのようなことを実施してきたのか。さらに今後の抜本的な対策とその時期はいつ頃になるのか伺う。

浸水被害の原因については、不浸透面の増大による雨水流出量の大幅な増加に対し、既存施設の能力不足から溢水したことが主な原因であるとされている。また、今までのこの地区の浸水対策としては、浜野川雨水5号幹線、蘇我雨水ポンプ場、寒川雨水1号幹線を完成させた。さらにその準幹線を延長する

南部児童文化センターの改築について

児童・生徒に利用される社会教育での利用も多いため、老朽化した木造公民館などの改築を計画的に進めており、南部児童文化センターについては新5か年計画の中で改築を予定している。

平成14年度から実施される新学習指導要領により、学校、地域、家庭との連携の重要性が今まで以上に増大するものと見られており、南部児童文化センターをどう学校週5日制に向けての事業の検討を進めているのか。

本市教育委員会には、また、書籍は届いていない。また、教育関係者個人に送られた郵便物などについては、教育委員会としては把握していない。また、書籍が送られていない場合、違法行為かどうかは公正取引委員会などしかるべき機関で判断するものと考えている。また、教科書検定や採択への政治的圧力の禁止については、教育基本法第10条において、「教育は、不当な支配に服することなく、国民全体に對し直接に責任を負って行われべきものである」と規定されている。本市では、公正かつ中立で最も適切な手続きで教科書採択している。



蘇我雨水ポンプ場(中央区)

委員会審査・調査から

常任委員会

9月12日に開かれ、議案11件、請願1件、陳情1件を審査しました。その結果、全議案を可決したほか、請願・陳情は、継続審査となりました。



総務委員会審査風景

総務委員会
一般会計補正予算や町の区域および名称の変更など議案3件を審査し、町の区域および名称の変更に関する基本的な考え方や変更に伴う案内表示の方法および整備スケジュールなどについて質疑がありました。

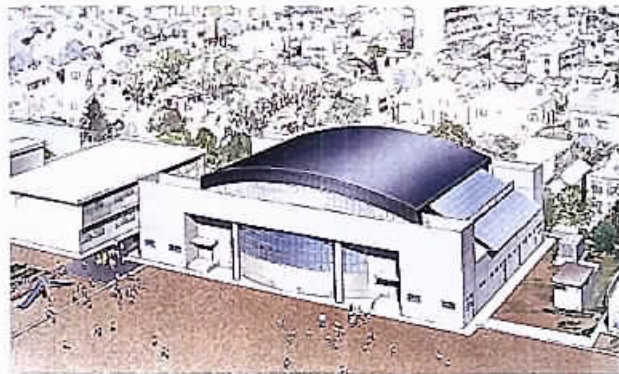
保健下水委員会
一般会計補正予算や千葉市社会福祉法人助成条例等の一部改正など議案3件、請願1件を審査し、千葉市社会福祉法人助成条例等の一部改正について、今年6月に施行された社会福祉事業法などの改正の内容や福祉サービスの措置制度から利用制度への移行に関し、障害者施設などのサービス供給量の整備状況などについて、質疑がありました。

環境建設委員会

一般会計補正予算、市道路線の認定及び廃止の議案2件、陳情1件を審査し、一般会計補正予算の継続費補正のうち、新港新清掃工場建設事業に關し、補助金の追加内示に際しての使途指定の有無や事業費総額が減額となった理由および今後変更される可能性などについて、質疑がありました。

経済教育委員会

一般会計補正予算、蘇我小学校屋内運動場改築工事請負契約の議案2件を審査し、蘇我小学校屋内運動場改築工事請負契約に關し、事前公表された予定価格に近い落札額に対する見解や屋内運動場の換気がよくない状況に対する見解などについて、質疑がありました。



蘇我小学校屋内運動場完成予想図

都市消防委員会

都市計画土地地区画整理事業特別会計補正予算や市営住宅天台団地建替事業建築主体工事請負契約など議案5件を審査し、天台団地建替事業建築主体工事請負契約に關し、住宅戸数の設定に際しての間取り別供給数の基準と地域性への配慮の有無や電波障害対策の取組状況などについて、質疑がありました。

大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

9月5日に開かれ、大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望を協議したほか、地方分権推進委員会意見の概要について調査しました。

少子・高齢化社会対策調査特別委員会

8月24日に開かれ、今期の委員会の進め方などについて協議しました。また、10月18日に開かれ、女性センターと子どもルームの視察を行いました。

決算審査特別委員会

- 委員 長 中野 弘
副委員 長 結城 房江
第一分科会主査 三須 和夫
同 副主査 山口 晴美
第二分科会主査 川岸 俊洋
同 副主査 小柳 輝信

平成11年度一般会計および特別会計決算議案を審査するため、9月11日に、全議員で構成する決算審査特別委員会(2分科会)を設置し、計8日間にわたり審査しました。

また、総括質問が8名の議員により行われました。

9月28日の決算審査特別委員会で、2分科会の審査概要について報告が行われ、採決の結果、各会計決算を認定しました。

なお、次の8項目の指摘要望事項は、決算審査特別委員会が市長に要望したものです。

指摘要望事項

財政運営については、各種財政指標が厳しい状況にあり、今後も義務的経費の増加が見込まれることから、市税をはじめとする自主財源の確保に努めるとともに、地方交付税など各種財源のより一層の確保を図ること。また、市債の発行抑制にも意を用いること。

放置自転車については、放置常習者への対応や撤去手法を十分に検討するとともに、自転車駐車場の利用を促進する対策を講じ、その解消に一層努力すること。

少子化対策については、保育所への入所待機児童の解消に資する施策の充実に努めるとともに、多様な保育ニーズを踏まえた適切な子育て支援策に取り組むこと。

産業廃棄物・一般廃棄物の不法投棄については、市民からの通報も含めた監視体制の充実強化による早期発見に努め、その抑制を図るとともに、放置自動車については、さらなる撤去方を講じること。また、狭隘道路地区における相対み収集については、小型収集車の導入などを含め、その収集方法について検討すること。

商店街の活性化および中小企業への支援については、各種調査の結果分析や事業評価に基づく施策の取捨選択を行い、より効果的な活性化・支援策を展開し、一層の市内経済の振興に努めること。

バス交通については、市民への利便性の向上や利用促進を図る観点から、バス事業者への助成のあり方を検討するとともに、行政と事業者の協調体制を強化することにより、生活路線などの維持・確保に努めること。

公共下水道整備については、諸経費の節減に引き続き取り組むとともに、一層の予算確保を図ることにより、さらなる普及率の向上に努めること。

小中学校においては、豊かな学習体験や生活体験を得るため、学校・家庭・地域が連携した教育活動を推進し、児童生徒の健全育成に努めること。

総括質問

- 主な質問項目
千葉市情報化基本計画について
土地開発公社について

千葉市美術館所蔵作品

すずみずのようぶ
『芒窓屏風』
鈴木其一作 江戸時代後期

銀箔を貼りつめた画面に、墨や銀泥を使い分けて芒の群生を描いた作品。ゆったりと蛇行して見えるのは霧を表現したもの。抽象的で図案的な形の繰り返しが、銀という素材を知り尽くした技巧によって、どこまでも続く野原のように変貌して見えてくる。鈴木其一(1796~1858)は、江戸琳派の画家。ざん新な造形感覚を發揮した華やかな作品を残し、近年特に評価が高い。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎043(2)24(5)5472

表紙から
頁は、花見川区の花園中学校で行われた市民体育祭の様子です。

今年から「体育の日」が10月の第2月曜日となり、連休中に市内の各所で市民体育祭が行われました。先月閉幕したシドニーオリンピックでの日本選手の活躍に触発されて、日頃運動不足の方々も、この日は、綱引きに、障害物競走にと頑張られたことでしょうか。このようなスポーツイベントなどを通して、健康づくりはもとより、家族や地域のコミュニケーションがあらためて図られたことと思います。



お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成12年第4回定例会は11月30日(木)に開会する予定です。本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。会議日程は11月27日(月)に決まる予定です。

- 都市防災におけるコミュニティの役割について
- 保健所行政について
- 環境問題について
- 環境自治体について
- 住宅行政について
- 花の広場について